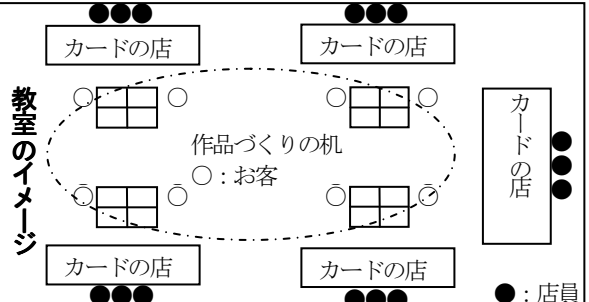


児童の活動	教材教具	HRT	ALT	☆評価 ・留意点
<p>1 Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気、日付、曜日を確認する。</li> </ul> <p>2 Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Song “Sing a Rainbow” を歌う。</li> </ul> <p>3 Today’s topic</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形の名称を思い出すとともに、色や形の組み合わせでいろいろな作品ができることを知り、活動への意欲をもつ。</li> <li>色・red, blue, yellow, green, black, white, pink</li> <li>形・circle, triangle, square, diamond, rectangle, oval</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の歌のCD</li> <li>・いろいろな色や形のカード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気や日付、曜日などについてALTと対話する。</li> <li>・児童とともに歌う。</li> <li>・ALTが提示したカードを数枚組み合わせさせてできた形について、何に見えるかを考えて答えるモデルを示し、児童の反応を引き出す。</li> <li>・ALTと児童のやりとりを見守る。</li> <li>・HRTも一つの作品例を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気や日付、曜日などについてHRTと対話する。</li> <li>・児童とともに歌う。</li> <li>・いろいろな色・形のカードを順に提示し、児童の反応を引き出す。</li> <li>・取り出したカードを黒板に貼り、家、自動車、ロボットなどの形を作る。何に見えるかなど、尋ねながら、カードを組み合わせ作り、活動への興味を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ジェスチャーを交えて歌を楽しんでいる。</li> <li>・絵や板書、ジェスチャーなどで児童の理解を助ける。</li> <li>☆色や形の名称を思い出し、反応している。</li> <li>・名称の確認については、「ミッシング・ゲーム」やカルタ等も活用できる。</li> <li>・家や自動車等を提示しながら、ロボットを作る活動への興味付けをする。</li> </ul>
<p>ほしい色や形のカードを選んで、すてきなカラフルロボットを作ろう。</p>				
<p>4 Activities</p> <p>「お店さんとお客さんに分かれて、カラフルロボットを作るカードを渡したりもらったりしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店員（カードを渡す人）とお客（カードをもらう人）に分かれる。</li> <li>・お客さんはほしい色や形のカードを注文する。店員さんはそのカードを渡す。</li> <li>・お客さんはもらったカードを台紙に貼り、自分のロボットを完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな色や形のカード多数</li> <li>・カードを貼る台紙</li> <li>・のり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の仕方を演示する。</li> </ul> <p>お客：Hello. お客：(White)(circle),please. お客：Thank you. お客：See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の仕方を演示する。</li> </ul> <p>店員：Hello. 店員：Here you are. 店員：See you.</p>	<p>【コミュニケーションのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自分のほしいカードが相手に正しく伝わるように、色や形の名称をはっきりと話している。</li> <li>(Loud voice)</li> <li>☆相手の願いを聞き取り、親切にカードを渡している。</li> <li>(Be kind)</li> </ul>
<p>教室のイメージ</p> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動がスムーズに開始されるか見届ける。</li> <li>・児童とともに活動に参加し、次の姿を見つけ、認める。</li> <li>☆ほしいカードを相手に伝えようとはっきり話している姿。</li> <li>☆相手の願いを聞き取り、親切にカードを渡している姿。</li> <li>・コミュニケーションのポイントから、対話中に見つけた姿をほめる。</li> </ul> <p>「形がわかるようにはっきりと言葉で伝え、手でもその形を作って見せていたね。」等(Loud voice) 「相手の言葉をくり返して言って確かめていたね。」「相手を見てThank you.と伝えていたね。」等(Be kind)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形の名称を忘れて困っている児童を見つけ、教える。</li> <li>・児童とともに活動に参加し、次の姿を見つけ、認める。</li> <li>☆おもしろい色や形の作品を作っている姿。</li> <li>☆いろいろな色や形のカードを組み合わせようとしている姿。</li> <li>・できるだけ多くの作品について色や形の組み合わせのおもしろさや発想のよさを見つけ、簡単な英語でほめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Commentsは、ALTはできあがった作品の形や色の組み合わせのおもしろさを認め、HRTは対話の姿のよさを認めるというようにそれぞれ視点をもって認めるようにする。</li> <li>・ALTに児童の作品のおもしろさをほめてもらい、児童が互いの作品を認め合い、満足感をもって終わられるようにする。</li> </ul>
<p>5 Comments</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HRTが対話の姿を認める（右欄参照）話を聞く。</li> <li>・自分の作品を黒板に貼り付ける。</li> <li>・ALTが作品のおもしろさを認める話を聞く。</li> <li>・友達の作品のおもしろさを発表する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示した児童の作品を見ながら、感想交流の進行をする。</li> </ul>	<p>「いろんな色を使っているね」「色の組み合わせがおもしろいね」「強そうな形だね」「私の国ではこういう形が人気だよ。」「形の組み合わせは似ているけれど色が違うね。」等</p>	